

# AWA

## ～歴史, 風景を紡ぐかたち～

日本では古来より、人工的な華美なものより、自然に表れる美しさを大事にしてきました。日本の建物にはその精神がよく表れており、反りやむくりを多様に用いることや、木目を生かした素材を使用することで有機的な美しさを演出し、自然や風景に溶け込みます。

建築における再生とは、風景・風土・住んでいる人々・既存の建物等、その場所が培ってきた歴史を尊重し、それらを未来へ継承することであると考えます。

必要な空間を確保するために、人々が慣れ親しんだ過去の景観を無視して、無機質な建物を建てるだけでは、その場所の歴史を破壊することになります。再生とは日本の建物のように、その場所の景観に建物を溶け込ませることで、その場所の歴史を尊重しながら、新しい価値を与えることであると考えます。

そのためには、建物は幾何学的で無機質な形態ではなく、自然発生的で有機的な形状を有する必要があります。しかし、人の手で曲線的な形状を生成することは難しく、作り手の技術で仕上がりが大きく左右されます。また、いかにランダムなかたちを描いても、人の手を通して描かれた形状には、ある程度の不自然さを伴います。

私たちは自然発生的で有機的な形状として、泡に着目しました。泡は曲線的であり、かつ合理的に、その形態を無限に変化することが可能です。

この泡から着想を得て、有機的で自然発生的な形状を創生する方法を提案し、場の歴史を継承しながら再生するかたちを目指します。



場所性を失わずに、歴史を継承する、空間に融け込むかたち

